

2012年10月31日（水）

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

企業調査レポート
株式会社フィスコ

■ジェネリックとアジアが成長ドライバー

フロイント産業<6312>は業界の黎明期に「自動フィルムコーティング装置」「フィルムコーティング液」を世界に先駆けて開発し、製剤技術をキーテクノロジーとした、ハード（機械・装置：機械部門）とソフト（医薬品添加物：化成部部門）の両方を扱うという特異なビジネスモデル。国内における造粒・コーティング装置のシェアは70%と圧倒的であり、世界的にも3強の座を争っている。製薬向けに高い信頼を得ていることに加え、ナショナルクライアントを顧客に有する産業関連も伸び代が期待される。

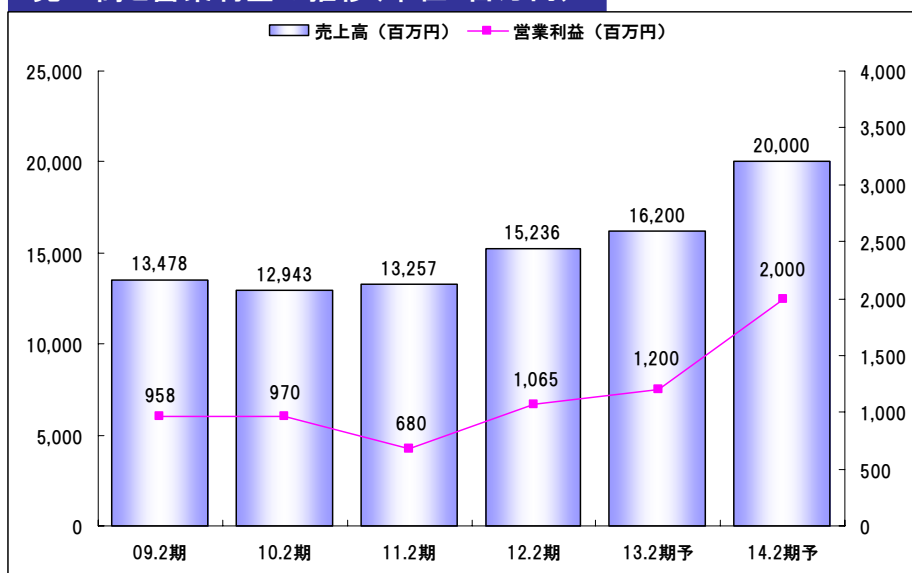
10月10日に発表された2013年2月期の第2四半期（3-8月期累計）の連結決算は、売上高が前年同期比24.0%増の8,679百万円、営業利益が同107.8%増の893百万円となった。機械部門における堅調な受注および海外大型案件に加え、化成部部門でも栄養補助食品における受託製品が堅調に推移。数量増という効果が期待できるジェネリック（後発）医薬品の拡大、医薬品の生産国として台頭してきているアジアにおける展開の進展なども追い風となっている。納品の期ずれの可能性を考慮して2013年2月通期の予想は据え置かれたが、第2四半期までの推移からは保守的な感が強い。環境的にも大きな変化は認められない。

中期経営計画は売上高で20,000百万円、営業利益で2,000百万円となっている。ジェネリック医薬品、アジアが成長の原動力となり、成長スピードは加速する見通しだ。中期的な少子高齢化の流れで、国内製薬会社向け市場も底堅い展開が続くと想定される。

■Check Point

- ・国内における造粒・コーティング装置のシェアは70%と圧倒的
- ・グローバル市場でも3強の1社
- ・2013年2月通期の予想は保守的である可能性
- ・中期経営計画は売上高で20,000百万円、営業利益で2,000百万円

売上高と営業利益の推移（単位：百万円）



ディスクレマー（免責条項）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ